

# 援農ボランティアの お誘い

令和三年

# 8月号



まほろば編集部

島田 浩

今年一番の暑さと晴天に恵まれた7月14日、ひと月ぶりの援農ドライバーとして農園に行きました。今回は初援農の方お一人、2回目の方2名、更には援農回数多数のベテラン70代の長谷川さんと、まほろばOBの女性スタッフ3名、計7名のフル乗車。(直接畑に来て下さった方も！)

女性陣は草に埋もれた人参の救出と、石ころだらけのエリアからの石拾い。援農隊長穂積君の指導の下、二手に分かれて作業開始。男性陣は途中まで石拾いをした後、急遽前日に連絡が取れた隣村の米農家、金子さん(まほろばでも「ゆき



右から二人目が金子さんです。



- ひかり」や「おぼろづき」を頂いています)の所へ行って、発酵肥料の原料になる精米後の「もみ殻」を袋詰めする作業となりました。

- ギラギラと日差しが照り付ける中、男性陣4人で、フレコンの大袋20袋に詰め放題。二手に分かれスコップ片手に、もみ殻まみれになりながら奮闘しました。最初は快調に飛ばしていたものの、4袋目くらいからバテバテに…。なんとか5袋詰めて1時間の前半終了。昼ご飯をはさみ、午後から1



時間で残り5袋。会長チームとあわせ計20袋完了。心地よい疲れと肌に触れる風の気持ち良さ、そして何とも言えない達成感。こうして大地とまみえることの中にこそ、本当の健康があるのでしょうか。(その日の夜、全身の筋肉痛で目が覚めました(苦笑)。長谷川さん、大丈夫でしたでしょうか?)

女性陣も、重い石拾いを終え、総出で人参救出作業に。ところが、草の勢いに押されこちらも難航。最後まで届かず時間終了となりました。皆様、暑い中の作業、本当におつかれさまでした!!

帰り際、私と長谷川さんでボランティアさんのお土産にサクランボ摘み。隣にある桑の木には桑の実がなっていました、こちらはすぐにホロっとつぶれてしまうため、収穫できませんでした。援農



に行かれた方は、ぜひ直接召し上がってください。(この稿が出る頃には終わっているかな?)



援農ボランティアの皆様、ありがとうございます!!



## まほろば自然農園♡援農ボランティア♡のおさそい

### ● 日程 (予定)

4月中旬ころから10月下旬までの隔週水曜日と隔週土曜日(感謝デーは除く)。

※ご自分の自家用車で行かれる方は、○印の予定日以外でも参加可能です(※援農受入れ休止日を除く)事前にご連絡ください。

### ● 時間

朝9時本店出発

17時~18時頃本店着予定



※現地での怪我などの事を考え傷害保険を弊社で掛けさせて頂く関係で、参加される方は事前に氏名、電話番号をお知らせ頂くことになります。

### ● 募集人数

まほろばの車にお乗りの方は、1回につき7名まで。

### ● 作業内容

苗の定植、草取り、収穫、管理作業など。

### ● 持ち物

昼食(お弁当をご持参ください)、飲み物、手袋、着替え、雨具、帽子、長靴、など。



## 8 AUGUST

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 9 SEPTEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

※○印の日は、**援農予定日**です。

※毎週日曜日の午後~は、**援農受入れ休止**とさせていただきます。